

つくろう・食べよう・遊ぼう！

三浦小学校で3世代交流

12月3日、黒潮町出口の三浦小学校で、「第5回みんなで昔遊びを楽しもう(3世代交流)」が行われました。三浦の子どもを育てる会と三浦小学校PTAの共催。

午前中は、地域住民や保護者と一緒に、1・2年生がたこづくり、3・4年生がミニ門松づくりを行い、5・6年生はカツオのたたきや炊き込みご飯、豚汁、サラダを作りました。お昼ごはんは、みんなと一緒にできたての料理をいただきました。

午後からは、おじゃみやカルタ、こままわし、竹とんぼなど、昔の遊びを楽しみました。

この行事は、子どもと保護者だけでなく、たくさん地域住民が集まり、交流できる機会として毎年1回開催しており、今年も約170人が参加。今年から、料理作りに食生活改善推進員(ヘルスメイト)も加わり、交流の幅が広がっています。

一緒に作ったり遊んだりしながら、お互いに知り合い、地域の絆が深まった一日となりました。



バスや電車の乗り方がわかったよ！

公共交通乗り方教室

市町村や交通事業者らで組織する高知西南地域公共交通協議会主催の「バス・鉄道(列車)の乗り方教室」が、11月下旬から12月にかけて行われ、町内では入野小2年生と南郷小3年生が参加し、それぞれの学校で授業を行いました。

まずは、パンフレットなどを使って事前学習を行い、後日、実際にバスや電車の乗車体験をします。入野小学校は、入野駅から中村駅へ鉄道で移動し、四万十市内のスーパーで買い物学習をした後、バスで学校へ戻るコースを設定。南郷小学校は、浮鞆駅から佐賀駅まで鉄道で移動し、佐賀地域の小学校を見学した後、拳ノ川からバスで学校へ戻るコースです。

駅で、切符の買い方や時刻表の見方、ホームでの待ち方の説明を受けた後、普通列車に乗車。日ごろ列車に乗る機会のない児童らは「カーブで汽車が傾いて怖かった」「トンネルが暗くて夜みたい」と話していました。

また、バスの乗車体験では、整理券を取って乗り、降車ボタンを押し降る体験をしました。降

車ボタンは児童らに大人気で、学校への帰り道では、次々に「ピンポンピンポン」と鳴らしていました。児童らは「いろんな汽車やバスに乗れて嬉しかった」「また機会があったら乗りたい」と、楽しんで様子を、中には「運転手さんになりたい」という子も。学習を通して公共交通に親しむことができました。

入野小学校は、入野駅から中村駅へ鉄道で移動し、四万十市内のスーパーで買い物学習をした後、バスで学校へ戻るコースを設定。南郷小学校は、浮鞆駅から佐賀駅まで鉄道で移動し、佐賀地域の小学校を見学した後、拳ノ川からバスで学校へ戻るコースです。



右2枚・バスの行き先を確認し、整理券を取って乗車します。左上・黒潮町のラッピング列車に乗車。左下・昨年3月にリニューアルした土佐中村駅。